

## 参加事業者の意見の傾向

別添2

項目		参加者の意見の傾向
公募条件	参加事業者の形態	・建設企業と設計企業のグループを希望する意見が多かった。
	特定JVの構成員数	・特定JVを希望せず、単独での参加を希望する意見が多数であったが、特定JVを希望する意見もあった。
	特定JVの組成期間	・特定JVを希望せず、単独での参加を希望する意見が多数であった。
	特定JVの出資比率	・特定JVを希望せず、単独での参加を希望する意見が多数であった。
	実績の条件 (事業者)	・施工実績として、過去10年又は15年で、本計画と同規模又は80%程度の規模の病院とすることを希望する意見が多かった。
	実績の条件 (技術者)	<p>【設計技術者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各技術者全般を通じて、資格要件は設定しても問題ないが、実績要件は極力緩和することを希望する意見が多かった。</li> <li>・特に、構造、電気、機械の技術者は、病院の実績要件無しを希望する意見が多かった。</li> </ul> <p>【施工技術者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各技術者全般を通じて、資格要件は設定しても問題ないが、実績要件は極力緩和することを希望する意見が多かった。</li> <li>・特に、電気、機械の技術者は、病院の実績要件無しを希望する意見が多かった。</li> </ul>
その他 (公募条件に関わる その他要望等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営事項審査の総合評定値(建築一式工事)については、1500点以上を希望する意見が多かったが、1800点以上を希望する意見もあった。</li> <li>・総合評価による選定を希望し、提案点と価格点の割合は、提案点:価格点=7:3~6:4程度を希望する意見が多かった。</li> <li>・予定価格及び最低制限価格の事前公表を求める意見が多かった。</li> <li>・地元企業が参画することによる加点評価を希望しない意見が多かった。</li> </ul>	
工事費	事業費	・建設事業費は、現時点の市況を考慮した場合、契約時において92.3億円(税込)つまり62.2万円/㎡(税込)の予算は妥当であるという意見が多かった。
	昨今の建設物価状況 今後の建設物価予測	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材単価については、鉄関係などについて一部鈍化は見られるものの、全般を通じて今後も上昇傾向にあるという意見が多かった。</li> <li>・労務単価についても、上昇傾向にあるという意見が多かった。</li> <li>・電気、機械のサブコントラクターについては、現状は確保が困難な状況が続いており、今後も続くことが予想されるという意見が多かった。</li> </ul>

項目		参加者の意見の傾向
工期	工期の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計期間は、基本設計8ヶ月・実施設計8ヶ月で対応可能という意見が多かった。</li> <li>・工事期間は、実働18ヶ月+国体期間3ヶ月(工事中止期間)では、ギリギリ対応可能という意見と、1~3ヶ月程度不足するという意見の双方があった。</li> <li>・工事期間は4週8閉所の条件を想定した意見であった。</li> </ul>
	工期に影響が出そうな条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材調達に影響が出そうなものとしては、鉄骨、ボルト、鉄筋、杭、半導体関連機器、免震装置という意見があった。</li> <li>・各資材の調達期間は下記の通りの意見であった。 鉄骨:6~14ヶ月 免震装置:7~8ヶ月 半導体関連機器:12ヶ月程度</li> <li>・電気、機械のサブコントラクターについては、現状は確保が困難な状況が続いており、今後も続くことが予想されるという意見が多かった。</li> </ul>
参加意欲	参加しやすくなる条件	・意見の傾向は無し
	参加しにくくなる条件	・意見の傾向は無し
その他	提案書作成等必要な期間	・公告から入札及び提案書提出までの期間は、4ヶ月~6ヶ月を希望するという意見が多かった。
	物価スライド条項適用事例や要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計中も含めた物価スライド条項の適用と、明確化を希望する意見が多かった。</li> <li>・物価スライドの起算日に公告日を希望する意見が多かった。</li> </ul>
	地盤の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開されたボーリングデータより、GL-10m付近から比較的N値の安定した砂礫層が出現することから、同層を支持地盤とした杭基礎が妥当であるという意見があった。</li> <li>・軟弱地盤を理由に建設出来ないという意見は無なかった。</li> <li>・杭基礎構造を選択するという意見が多かった。</li> <li>・表層の液状化については、現在公開されている情報だけでは判断が難しく、工法決定等のために、調査結果の開示・公告を待つとする意見が多かった。</li> </ul>
	高圧線による工事への影響	・杭打機やクレーンなどの重機における揚重作業について、高圧線との干渉の危険性が一部あるため、配慮が必要であるとの意見が多かった。
	免震構造	<p>【工事費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2~8億円、或いは工事費全体の7~10%程度のコストアップという意見があった。</li> </ul> <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下記の通りの延長が想定されるという意見があった。 設計期間:2~3ヶ月 申請期間:2~5ヶ月 工事期間:2~3ヶ月</li> </ul>